

2023年12月期第2四半期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社
 代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 武司
 問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 尾古 雅章
 : (TEL) (06) 7635-1624

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

	当第2四半期累計期間 (2023年1月~2023年6月)		前第2四半期累計期間 (2022年1月~2022年6月)		増減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取扱高 ※1	71,409	-	74,309	-	▲2,899	▲3.9%
売上収益 ※1	28,970	-	29,705	-	▲734	▲2.5%
営業利益	2,299	3.2%	2,776	3.7%	▲476	▲17.2%
経常利益	2,401	3.4%	2,734	3.7%	▲332	▲12.2%
四半期純利益	1,672	2.3%	1,942	2.6%	▲270	▲13.9%

(注) 当社の連結子会社は、可樂麗貿易(上海)有限公司、クラレトレーディングベトナムの2社となっています。

(2) 単体経営成績(累計)

	当第2四半期累計期間 (2023年1月~2023年6月)		前第2四半期累計期間 (2022年1月~2022年6月)		増減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取扱高 ※1	67,838	-	70,504	-	▲2,665	▲3.8%
売上収益 ※1	19,754	-	20,363	-	▲608	▲3.0%
営業利益	1,943	2.9%	2,221	3.2%	▲278	▲12.5%
経常利益 ※2	3,330	4.9%	2,151	3.1%	+1,178	+54.8%
四半期純利益	2,584	3.8%	1,504	2.1%	+1,079	+71.8%

※1: 当社は、2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しています。

当該基準適用前(旧基準)での売上高に相当する金額を「取扱高」、当該基準適用後の売上高に相当する金額を「売上収益」として表示しています。

※2: 単体の営業外収益には、連結子会社からの受取配当金(連結決算では消去)を計上しています。

2. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年6月30日）は、繊維関連はスポーツ衣料は堅調に推移しましたが資材関連が苦戦、化学品・化成品はアジア市場等での景気減速の影響を受けました。この結果、当社の経営成績は、取扱高は71,409百万円（前年同期比2,899百万円減、3.9%の減収）、売上収益は28,970百万円（同734百万円減、2.5%の減収）、営業利益は2,299百万円（同476百万円減、17.2%の減益）、経常利益は2,401百万円（同332百万円減、12.2%の減益）、当期純利益は1,672百万円（同270百万円減、13.9%の減益）となりました。

セグメント別は以下の通りです。

以下〈 〉の中の名称は(株)クラレの商標です。

【繊維関連】 (減収減益)

取扱高は20,410百万円（前年同期比1,681百万円減、7.6%の減収）、営業利益は965百万円（同134百万円減、12.2%の減益）となりました。

(衣料分野)

- 製品販売は、スポーツ衣料を中心に堅調に推移しました。
- スポーツ用途は、国内および中国でのスポーツアパレル・アウトドア向け販売が順調に拡大し、増収増益となりました。
- ユニフォーム・ワーキング用途は、苦戦しました。

以上の結果、衣料分野は売上・利益とも前年並みとなりました。

(資材分野)

- メディカル用途は円安によるコストアップで減益となりました。その他資材関連は土木を中心に需要減の影響を受けました。
- 人工皮革〈クラリーノ〉は、カーシート用は堅調に推移しましたが、スポーツシューズや手袋用途は販売減となりました。

以上の結果、資材分野は減収減益となりました。

【樹脂・化学品・化成品関連】 (減収減益)

取扱高は46,873百万円（前年同期比817百万円減、1.7%の減収）、営業利益は1,216百万円（同300百万円減、19.8%の減益）となりました。

- アジア市場等での景気減速の影響を受けました。

【その他（環境資材、機能製品、ベルト製品）】 (減収減益)

取扱高は4,126百万円（前年同期比402百万円減、8.9%の減収）、営業利益は118百万円（同42百万円減、26.0%の減益）となりました。

- 水処理関連を中心に需要減退の影響を受けました。

(2) 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

期後半も円安に伴う調達コストや物流費の上昇等の影響が続く上に、不確実な社会情勢の影響による世界的な景気減速の強まりが懸念されます。また、これに加え積極的な賃上げに取り組んだことから、通期の業績については下表のとおり年初公表から修正します。

(億円)

	取扱高	売上収益	営業利益	経常利益	当期純利益
年初公表 (2023年2月14日)	1,530	630	52	52	35
今回公表	1,500	620	50	50	35

(注記) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上